

第218回 Pカンパニー公演

2025年7月

「5月35日」

感想文集

NPO法人 ふなばし演劇鑑賞会

内田 龍磨

松永 拓野

林 次徳

山本 三子

小谷 俊輔

中村 芳

NPO法人
ふなばし演劇鑑賞会さんへ

! 5月35日
カンパニー



船橋市民文化ホール 2025. 7. 29. 30. 31

紙谷 尚志

秋田 遥香
Akita Haruka

千葉 綾乃

吉岡 健二

本村 愛子

池田 楓

河野 芽依

とてもとてもとても素晴らしかったです。息子を亡くした両親という、ミナマナ(でもとても感情移入しやすい)単位から始まり、ドンドン世界が外に広がっていく構成は、明快で、物語に引き込まれました。

モノローグ・2人の会話と少しの集団の会話で成り立っているのに、1989年の場面が思い浮かんでくるのはすごいと思いました。もちろんテーマも、その立ち位置も大変共感しました。

最後の合唱のところは、レ・ミゼラブルの民衆の歌の場面を彷彿として震えました。(イヴ 伊丹 濯 30代 男)

素晴らしかったです。観た後、舞台に残された家具が愛おしく思えるほど、余韻が残りました。

ちょうど2019年頃、中国にルーツがある親戚が「こういうことを言っていると、中国では捕まるんだよ」とか「日本で報道されているより戦争みたいな状態だよ」とか言っていたので、すぐ内容がわかりました。心に残るお芝居、ありがとうございます。

(フージーと元氣な仲間たち

西山麻弥 40代)

中国にそんなことが起こっていたとは知らなかった。今日見たことは一生忘れません。役者さんの演技が、演じている役が自分の八日に演じてて、見ごたえがありました。

(華まる 山崎遥太 中学2年)

重い作品でした。芝居では、いくつかの“笑い”をとる場面がありますが、この手のものではそれをもう少し入れて欲しかったと思いました。

これは、脚本家への注文になります。例えばシウラムをトランクに入れて天安門に入ろうと夫が云う。対して彼女は「オシッコやウンチが我慢できない」と応える。そこで更に、「どこかの国の自動車会社の社長は、トランクに入って飛行機で逃げた。あんなのカッコ悪いものね」と云わせる。

あるいは、最後に夫婦で若い頃を思い出す場面、妻は云う、「私はかの国の主席の奥さんのように美人でもないし、戒厳令を出した大統領の奥さんのようにコケティッシュでもない。」と。対して夫は、「権力をつかむと、誰もどうしてああいふキレイどころを嫁さんにするのか。お前の方がずっといいよ」と。

例えば、こんな風刺と学問を入れて、重さを軽くして欲しかったと思いました。

最後に疑問。最終場面、カレンダーは6/1と6/2に×印がついていましたが、場面は6/4ですか。私の何かの勘違いでしょうか。6/4には既に死んでいる?それにしても前回の木遣り唄に続いて、今回の霊の合唱、感動させられました。とまれ、色々申しましたが、ご夫婦役のお二方、熱演で時間もあつという間でした。

ありがとうございます。

(富士桜 朝日 崇 70代)

実は私の個人的体験ですが、1989年6月4日、東京麻布の中国大使館付近を歩いていた時に、学生デモに遭遇しました。帰宅してニュースを聞いていたら、天安門広場での大虐殺に、日本に来ていた留学生が中心になって、抗議のデモを行っていたことだと分かりました。歴史の一場面に出会えたことに不思議な感慨を持ったものです。これからも、日本を含め世界中の人たちが、自由、民主、平和を求めて行動することがいかに大切なことかと、改めて思い至りました。

(ムーミン 松尾弘道 70代)

圧倒されるほどの素晴らしい演技でした。(ハイネ 中川奈津子 60代)

竹下さん、可愛らしく美しい方でした。カーテンコールの握手で、握手させていただき大満足です。林さんにも強く握手させていただきました。

会員を増やせていないのに申し訳ありません!がんばったんですけど、まだ明日がありますと励ましていただきました。

長丁場の難しいせりふをよくぞ力強く、訴えてくださいました。劇場空間を演ずる人、観る人が共有できることは素晴らしいです。最後の力強い歌声が思いを全て語っていて、締めりました。後ろに映っていた映像は香港のもの?天安門のもの?

(フェローシップ 谷 70代 女)

天安門事件はとてもショッキングな事件でした。中国共産党も恥ずかしい事件として無かったことにしたいようです。実際は多くの人達の心に残っていると었습니다。シウラムとアダいの息子への思い、夫婦の愛情は犠牲となつた人々の仲間や家族に共通しているのではないのでしょうか。50年後かいつか、中国政府からの謝罪の言葉が聞ける時代が来ることを願っています。

(ハッピープリンス 春日井治 70代)

主人公の気持ちの変化と、最後にやり残したいという気持ちが伝わった。

(華まる 山崎瑛仁 小学校6年)

天安門のニュースは見えていましたが、こんなにも深いとは思いませんでした。母の子を思う思いに気づかされ、自分の心を見つめていました。一人息子が亡くなったら、あれほどに苦しみ、悲しみ傷つくのだと気づきはつとしました。何よりも、素晴らしい心が震えまくった感動と感謝の心でいっぱいです。ありがとうございます。

(石本キヨ 70代)

一人の親として、子を亡くした者の立場で、素晴らしいものを見せていただきありがとうございます。財務省の方が、自死された時の政府がうやむやにしようとしたのと重なり、私達市民が頑張らなければと思いました。

(オリオン 無記名)

「ご承知のように、景山という低い丘が天安門広場と反対側の城裏の公園にあり、そこに登って紫禁城を眺めると幾層にも城が重なり、えもいわれぬ絶景が目焼きつく。これが西太后はじめ歴代の皇帝たちが天下を取った古巢なのだ。一時期、いまもそうかもしれないが、朝9時に天安門広場に行く」とスモッグがひどくて、太陽を直視しても月を見ているようだった。

天安門の壁中央に現代中国国家の象徴として毛主席の額が掲げられていて、一般市民は故宮を見るために全国から観光にやってくる。通勤に自転車、万と犇めいて道路に流れていたころ、私も何度か行ったことがある。13億を優に超す人民を抱える広大な国家を掌る強権は、いわゆる民主主義を受け入れられず、人民はこれらの路傍の石になり、容赦なく捨てられてしかるべき存在と化するのか。

それを是とする教育を施し大多数の国民に馴染ませ、国を運営させていく、外から見てみると、なんと恐ろしいさまかと思える。その内実のひとつが「5月35日」なのだ。30年も経つてしまうと記憶が薄くなってしまうが、同様の香港での一連の様子はまだまださまざまな記憶に残っており、そこで活動していた人々のその後の生き方に心を痛めている。そのためか、しばらく足が向けられないでいる。

否、よその国ばかりでなく、この国でも似たことをしていた事実があり、い

まも様々な形でじつくり圧力をかけてくると肝に銘じておこう。

さて、学生のころ素人俳優をしていた息子に「どうだった、おもしろかったか」と夜の部を観た感想を尋ねたところ、「竹下景子さん、素晴らしくよかったよ!」と感激していた。「美人の顔ばかり見ていたんだらう」とちやかすと、「すばらしい演技で実によかった」と真顔になって繰り返す。そこで楽しみに観劇したけれど、息子のいうとおりだった。うかつにも彼女が若いころから舞台に出ていたことをまるで知らなかった。偶然に数日後テレビ放映で「男はつらいよ」に寅さんのマドンナとして若い竹下さんが出演していて、つい、うっとりながめてしまった。

Pカンパニーさん、いい芝居をありがとうございます、今後大いに期待しています。

(ゴメ ムラタ)



私の家族と私は香港出身です。2年前、香港から日本へ移住しました。雨傘革命の際、香港にいました。6月には天安門事件を追悼するため、ろうそくに火を灯しました。香港には、叔父、叔母、兄弟、姉妹、息子、娘が殺害された経験を持つ友人、同僚、近所の人たちがたくさんいます。政府が民主主義を抹殺しようとした時、私たちは抗議活動に参加しました。警察は路上で人々を殴り、駅に催涙ガスを投げ込みました。この劇は香港人によって書かれ、香港で初演されました。

今、香港で抗議活動を行うことは違法です。天安門事件を記憶することは違法です。この劇も違法です。

私たちは子供たちのために日本に移住しました。子供たちに日本でより良い生活を送らせるためです。日本は私たちを温かく迎えてくれました。日本人は親切で、支えてくれます。

子供たちの顔を見るたびに、天安門広場で殺害された人々や香港デモで亡くなった人々のことを思い出します。心が痛みます。

この物語を忘れないことは大切です。力強いパフォーマンスと、この物語を伝えてくださったことに感謝します。あなたの舞台は私の心に深く響きました。私たちは天安門広場と香港をいつまでも忘れません。新しい故郷と、この物語を自由に伝えることができることに感謝しています。

ありがとうございます! (無記名)

天安門事件を題材にしている舞台に竹下さんが主役で登場していること、しっかりと観させてもらいました。

私にとつてもあまりに衝撃的事件であり、事実が断片的に伝えられよくわかっていない事件でした。民主化を求める市民、学生、労働者を「暴徒」として位置づけ、中国共産党が軍隊をもって排除し、多くの人命を奪い、その実態を幾重にも覆い隠し歴史から抹殺する、このことに、今も怒りを禁じえません。

その後も遺族の言動を監視し、命日に事件現場の天安門に近づくこともできません。そんな些細な願望を30年間も我慢してきた夫婦が清掃員になって近づくということを画策するという物語でした。

小さいとき、チェロの才能に気づき将来を囑望していたら、それよりも民主化運動に突き進んでいった息子、その息子が突如帰らぬことになった、母親(シウラム)役の竹下さん父親(アダイ)役の林さんの30数歳を行き来する、若い時からがんや老いで闘病し残された日々を生きる葛藤がよく伝わりました。

忘れてはいけな歴史の真実、中国本土や香港でも上演が難しくなっていると聞き、日本での多くの上演を望むし、若い人に観てほしいと思った。

竹下さんがこの舞台をやりたいと思った動機を知りたいです。

(さくらんぼⅡ 浜島稔)

自分も世の中良くしようと、平和運動などしている。もし、日本が今こんな社会だったら、きつとすぐ捕まってしまうだろう。そんな時自分なら：家族なら：：：と思いながら観ていた。自分の家族の死について、口にすることすらできないなんてひどい。家族にとつてはなかったことには出来ないだろう。あの時代を見てきた、口に出来る状況にある私たちには、この事件を語り継ぐ責任があると改めて思った。

(バジナ 谷口初江 50代)

泣けた。「かわいそう」だけではない。殺されても自分の正義を貫く姿に心が震えた。(バジナ 小林文子 50代)

自由の大切さを感じました。中国の学生や市民が、民主化運動をしようとした経緯も描かれるとわかりやすかったかとも思いました。最後の天安門に戻った夫婦、学生たちのシーンに胸がつまりました。

(クスノキ 土佐千代子 60代)

天安門事件について記憶が薄れていたので、今一度きちんと調べようと思った。忘れてはいけない事件の一つなのだ。(ジャンプ 岡本直子 60代)

昔、ニュースで見たショックを思い出しました。中国は身近に感じることはありますが、やはり相容れない怖い国だと思いました。(ゲキ友 50代 女)

平和を自由を守ることは、一人一人の強い意志があつてこそだと改めて思いました。私が生きている間に、中国に本当の自由と平和が訪れるといいです。(コリン星 西田さおり 40代)

私は耳が悪くて、聴き取れないところが多いのですが、天安門事件がどういうことか良く分かりました。役者の熱意が伝わって来ました。

(歩っ歩 山崎 70代)

天安門事件は良く知っているので、その犠牲になった人達のことは一生忘れない。

(サモトラケのニケ 伊藤俊彦 70代)

素晴らしかった。涙しました。

(無記名 70代 女)

本当に素晴らしい演劇をありがとうございました。世界中で今、戦争が起こり、なぜこんな事が起きるのか、本当に残念でなりません。一番大切なものは、何ですか？と世界の指導者たちに問いたいと常々思っています。私たちに出来ることは何なのか？その答えがこの演劇のような活動です。小さくても、大きなうねりとなる為の平和の声を届けていかなければと思います。

皆様、頑張つて下さい。そして私自身にも出来ることを問い続けて行きたいと思っています。

(パン。パスグラス 遠藤章子 60代)

息子への愛は、いつの時代どこの国の母親も同じです。自分の息子を思い、自由に仕事しているようですが、タイの国で6月まで働いて、やつと異動で帰つて来ました。結婚しているけれど、竹下景子さんの気持ち、演技に涙していました。ありがとうございます。

(山彦 田村ユキ 70代)

5月35日が私の誕生日で、いつも朝のニュースを見ると「天安門事件」〇〇周年などのニュースがあり、今まであまり詳しくなかったのですが、今回の劇で理解を深めることが出来ました。来年からはニュースも見えます。

自由は誰にでもあるのが今まで当然だと思っていました。それはとても貴重なことだと思ひ直しました。いつか、みんなが自由に表現や発言が出来る世界になることを願います。

(子育てネット 千田帆夏 中学生)

とても不幸な物語でした。

(YMO 田中弘之 60代)

始め、子供がいない夫婦二人で死を迎えて、夫を残す心配をどうするかに考えていました。私たちも子供がいなため。でも途中から天安門事件のことに全てを奪われてしまいました。

最後は夫婦の葛藤と、思いやりでまねいた心残りや事件のことを知りました。素晴らしい舞台でした。

(田川ノリ子 60代)

用事で途中からの観劇になってしまったのが残念でした。色々考えさせられることの多い演目でした。

(無記名 70代 女)

・ちよつとユーモアを入れるとかしない
と、一般には厳しい台本、一本調子だし。
・熱演は分かります。忘れちゃいけないのも分かりますが。
・竹下さんのセリフが聞き取れない。女声の声だからだけではないのでは？最初の注意事項の女性の声は聞き取れました。(笑)

(無記名 60代 男)

こんなに感動したお芝居は初めてです。息子を亡くした両親の、尽きることのない悲しみ、そして思想、言論統制の恐さ等、色々と思ひ知らされました。

(無記名)

素晴らしい芝居でした。最後の合唱も素晴らしかったです。ストーリーもドキドキ。ありがとうございます。

(フエロシップ 70代 女)

夫婦愛と権力の横暴が絡み合い、重厚な芝居でした。最後に歌われた「歌」、犠牲になった若者、そして今を生きる人々への強いメッセージと感じました。

そして芝居を通して、今の中国の「国情」や問題点の一端を知ることが出来ました。又、「忘却」は普段の努力があつてこそ、防げるものと確信しました。

(宙 田口誠雄 80代)

最初に舞台のソファや電話台、炊事場などのセットを見た時、この地味なセットである天安門事件の激しさを、どうやって表すのだろうと思ったが、それは杞憂だった。

もう死期の迫った妻と、がんを患っている夫との会話に、義弟が加わり、二人の息子の死の真相がうかびあがってきて、二人は5月35日すなわち6月4日のその日に、息子が殺された現場で3本のろうそくを灯して弔おうと、人生の最後に心を合わせる。しかし、それを実行するのは至難の技なのだ。

この親が子の弔いをまともに出来ないという厳しい現実が、天安門事件がいかに理不尽で隠蔽しなくてはならない負の歴史だったかを教えてくれる。

そして、竹下景子演じる母親は、その弾圧に抗して戦った若者や市民たちに「それでもあなたたちはやろうとしていた！」と力強く話し、迎えに来た若者たちの霊と、自由を求める歌を歌う。この夫婦の目指したのもまた「やろうとした！」で終わってしまうのだろう。でもいつか、とやはり私は思いたい。少なくとも、今の日本ではこの演劇を演ずることが出来て、観ることも出来る。しかし、民主主義の旗手のようだったアメリカがトランプによって、あつという間に様変わりしたのを見ても、油断はならない。

日本に今ある自由を守るためにも、演劇を観続けたいと思う。

(その場しのぎ 加藤みどり 70代)

ありがとうございました。劇で世の中は変わらない。でも、多くの人に観てもらおうことで、世の中を変えていく力を推すことはできる！今日の劇を観て、強くそう思った。

歴史を正しく知ることの大切さ。良いことも悪いことも。そこから、より良くするにはどうしたらいいのかを学んでいくのだ。情報統制は独裁政治や戦争への第一歩。おそろしいことだ。それは気づかぬうちに進められる…。

さらに、人権や自由は当たり前ではない、ということ。いつまでも守ていくには、一人一人の努力―世の中を正しく見るということ―が必要なのだと、痛烈に思った。子を理不尽に殺された母親の嘆き…。

そこから様々な展開で、考えさせられた劇だった。

(亜童夢 伊澤輝美 70代)

天安門事件は、実際に起こった時に、ニュース映像を何度も観ました。鎮圧後についても、中国の圧力をかいくぐって、メディアが取材した映像や記事を読みました。まざまざとその時の報道や記事が蘇りました。しかし、その後もこのように、隅々まで監視と圧力が続いていることに、改めてゾッとします。

この芝居は、とてもよく出来ていて、夫と妻のそれぞれの立場や心情が、しっかり表されていると思います。脚本の良さと、全ての演者の表現力の高さを実感しました。(無記名 70代 女)

(最後の白い服を着た人達が、一斉に入って来て歌うシーンが、自由や忘れないというような言葉を使つて、亡くなった人達の思いなどを想像して、とても感動しました。

(奥田和誠 中学2年)

我が子と生きた18年より、我が子を失つてからの30年の方がずっと長く、その30年の中で我が子に向き合うことも出来ずに、心の整理も出来ない。(その30年間の両親(夫婦)の気持ちを表す言葉が見つかりません。竹下景子さんが短期間で変わっていく心身の変化を表現されているのがすごいと思いました。

そんな演技の中にも、少しコミカルな場面があり、観ている私たちを時々ほつとさせてくれました。

夫アダイがどんどんと自分の心、自分の妻、自分の息子と向き合つていき、力強く生き生きとしていったのが心に残っています。

香港では、「5月35日」が上演出来ないとありました。私たちの国、日本もそうならない為に…。まずは、この演劇を観たことを友人に知らせたいと思います。

「5月35日」は休憩なしの1時間40分でした。見ごたえがあり、集中して観劇出来ました。休憩有りの3時間近いものは、観るのにも体力がいります。

(アマルフィ 柴野智代 60代)



最後の歌の時に、観客席辺りから出てきた人が、おばあちゃんの子どもだったのかなと考えた。中国では、日本と比べ、人の命が軽い感じがした。きっと、人口が多かったからかなと思った。

最後、おじいちゃんやんは殺された人たちを、しっかりと弔うことができたかな？と思った。

おばあちゃんやんは車いすから立ち上がった時、亡くなったのかなと思う。

(ゲキ友 安東青春 中学3年)

すごく感動した。ストーリーの時点で既に面白く、泣けてくるのに、役者さんの演技も相まって、すごく良い芝居になっていた。(大野周平 10代)

よかったよ！息子(59才)も楽しかったと言っていました。年よりがんばれ！

(いとこ 90代 男)

最後の歌が「心」に残りました。あの歌を歌っていた人は、死んだ人だと思いますが、絶叫がすごく圧倒されました。歌詞があまり聞き取れませんでした。最初から主人公の息子が死んでいるという、スーパードラマ劇でしたが、最後はなんかいい感じで終わり、(台本)作った人すごいと思いました。チェロを入れていた部屋が、途中から透けていたので、演出(光)かな?と思いました。(子育てネット 奥田和佳 小学6年)

(ワディ&ホライズン

向後拓海 高校2年)

最後のコーラスが心に響いた。この歌声を是非聞いて欲しい。

(パンプキン 興水 70代 女)

天安門をテーマにした内容が、どんなお芝居になるのかと思いましたが、想像以上に心が動かされる舞台でした。竹下さんの演技にも大変感動し、記憶に残るものでした。

(コパン 金山 50代 女)

この現代でも、天安門広場でろうそく一つ灯すことも出来ないの?!とびっくり。しっかり観光地になっていたと思っていたので。声をあげなければいけないと改めて思う劇でした。

(無記名 60代 女)



おめでとうございます！

「5月35日」サイン色紙当選者

1232 富士桜 朝日 崇さん

1304 ムーミン 松尾弘道さん

1742 イヴ 伊丹 濯さん

※当選した方は申し出てください。



アンケート枚数 46枚	(回収率3.2%)
当日会員数 1,764名	
例会参加者 1,449名	(参加率82.1%)